

首里城と沖縄神社

— 資料に見る近代の変遷 —



《シンポジウム趣旨》

近代を中心とした首里城と沖縄神社に関する写真・図版、文字資料などを収録した神奈川大学非文字資料研究叢書『首里城と沖縄神社—資料に見る近代の変遷』(近現代資料刊行会、2024年)の刊行を機に、同書にかかわった編著者と地元沖縄で首里城問題にかかわっている歴史家を交えて、具体的な資料から近代における首里城と沖縄神社の関係について議論する。

上は琉球国時代の国殿(ルヴェルトガ「琉球諸島紀行」の図版より)。右は沖縄神社本殿(拝殿とされた「正殿」の後方にたてられていた。



総合司会：友知政樹(沖縄国際大学教授)

コーディネーター

後田多 敦(神奈川大学非文字資料研究センター研究員)

パネリスト

加藤 里織(神奈川大学非文字資料研究センター客員研究員)

前田 孝和(神奈川大学非文字資料研究センター客員研究員)

伊良波賢弥(神奈川大学非文字資料研究センター研究協力者)

田場 裕規(沖縄国際大学教授)

伊佐 眞一(首里城再興研究会、琉球近現代史家)

日時：2024年9月14日(土) 開場：13：30 開始：13：45 終了16：30

会場：那覇市職員厚生会厚生会館 《資料代：500円》 先着順

(上下水道局庁舎B棟3階：那覇市おもろまち1-1-2)

◇主催：琉球館、首里城再興研究会 共催：神奈川大学非文字資料研究センター

◇問い合わせ先：電話 098-943-6945 琉球館(株)Ryukyu企画